



※一般質問の内容は議員自身が9月定例会議事録に基づき記述しています。
令和3年9月定例会を選択すると視聴できます。

議員所属の会派名は、9月定例会時の会派名を掲載しています。

一般質問



うえまつ けんいち
植松 健一
(至誠)

ローラースポーツについて

問 東京オリンピック後、スケートボードを愛好する若者が増えてきているが、社会的な面、教育的な面からどのように考えるか。

部長 オリンピックでの日本代表選手の活躍をきっかけにスケートボードの愛好者が増えると同時に、オリンピックを見て憧れを抱き、幼少期からスポーツ競技としてスケートボードの練習に取り組む子どもたちが増えることが期待される。市内で活動を行っている団体に、青少年の健全育成と競技力向上を目的としたスポーツ団体として活動していただけるよう働きかけていきたい。

問 市民スポーツの一競技として、またアクティビティとしてローラーパークまたはローラースポーツエリアを整備してはどうか。

部長 現在市内にはスケートボードなどローラースポーツができるスポーツ施設はない。今後ニーズや社会情勢などを十分に把握し、関係団体と話し合いを行いながら、スケートボードなどのローラースポーツを通しての青少年の育成、及び競技の普及などに当たっての課題、さらにローラーパーク整備の可能性について研究していきたいと考えている。

市長 若者のこうしたスポーツに対して理解を示していくことは大事なことだと思うし、何とか造ってあげたいという思いはあるが、ただ一時的なことではなく長く続くようなスポーツであってほしい。それには協会がしっかりとして後継者の育成やマナーを守ることをやっていく必要があると思っている。

部長 ローラースポーツエリアの整備については都市公園の機能や特徴を踏まえた上で、新設を計画中の山本高原地区の都市公園や、既存の外神東公園に様々な活動も出来る多目的な広場としての整備を検討中である。



さいとう かずふみ
齋藤 和文
(公明会)

今夏の土砂災害被害状況と今後の対策について

問 富士宮市内の豪雨被害状況について。

部長 7・8月の被害状況は、粟倉・北山等での道路や林道への土砂流出等の報告あり。農林水産業に従事する農家からの被害報告は受けていないが、土砂が堆積する現象などが見受けられた。また林道施設においては、土砂堆積・アスファルト舗装の損壊などが確認されている。

問 土砂災害の根本原因となり得る開発行為とは。

部長 原因は、基準値以上の高さの盛土や、その盛土に対して小段や擁壁の未施工、湧水や雨水対策としての水処理の未施工が挙げられる。

問 違法な残土ビジネスとは何か。

部長 通常は許可を受けた処分場に適正な処分

費を支払うが、違法性のある残土ビジネスは、許可地以外に山林等の土地を探し不適切に土砂を投棄し処分しているのが現状である。さらに後継者不足等により管理レベルが低下している土地に対し、土地所有者は土地活用による利益が発生、業者は安価で残土処分が可能となることから、お互いが得になりビジネスが成立する。

問 急斜面にある危険な盛土の把握と行政の対応について。

部長 急斜面に行っている盛土は1件あるが下流には住宅地はなく直ちに土砂災害を引き起こす危険性は少ないが引き続き点検は行っていく。

問 違法な盛土を厳しく規制する法律の整備についての動きと必要性について。

部長 現在建設残土の投棄について規制する法律はない。熱海の土砂災害を受けて国交省や関係省庁と合同で全国的な実態調査を行い、法整備に向け準備に取り掛かっている。首都圏の建設残土を富士山麓に持ち込まれることから統一した規制が必要と考えている。